

2016年4月26日
 フューチャーアーキテクト株式会社

マイナンバー制度の発効に備え楽天証券の顧客情報管理システムを刷新 ～セキュリティ方針の策定からシステム実装まで全面サポート～

フューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:東 裕二、以下フューチャーアーキテクト)は、マイナンバー制度の発効に備え楽天証券株式会社(本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:楠 雄治、以下楽天証券)の顧客情報管理システムを刷新し、2016年1月に本稼働させたことをご知らせいたします。

2016年1月のマイナンバー法施行にあたり、楽天証券は投資家のマイナンバー情報を厳重に取り扱う管理体制を確立する必要性がありました。証券業務におけるマイナンバー情報の収集・保管・破棄・利用には非常に高いセキュリティレベルが求められます。楽天証券は証券業務の厳格な運用のための管理体制について慎重に検討を重ねた結果、将来的にはマイナンバーだけでなく顧客の重要な情報のすべてを保管し厳重に管理することも見据え、外部サービスの利用や業務委託ではなく独自の仕組みを構築することを決定しました。

フューチャーアーキテクトは、組織体制・業務・システムを全体視点で捉え、証券事業者に求められる対策を「人・組織」「物理」「技術」の軸で整理し、楽天証券とともにあるべき姿を追求し、マイナンバー管理を実現する新たな仕組みを構築しました。この仕組みの主な特長は以下のとおりです。

➤ 安心・確実なマイナンバー登録

個人投資家向けスマートフォンアプリ「iSPEED(アイスピード)」にマイナンバーの登録機能を新たに追加し、ログイン認証後にOCR(光学文字認識)によってマイナンバーを読み取る仕組みにしました。そのためミスがなく確実に入力され、マイナンバーが誰かに見られることもありません。また、マイナンバーは専用登録システムに暗号化して保存され、顧客情報管理システムで厳重に保管されます。

➤ 組織体制を踏まえてデザインされた権限分離

業務担当者やシステム管理担当者など各々の権限を適切に分離することで内部不正への対策をより一層強化しています。

➤ セキュリティ脅威への多軸的かつ多面的な対策

不正利用、不正アクセス、改ざん、ウィルス、盗聴、情報漏えい、サービス妨害などのセキュリティ脅威に対して多軸的かつ多面的な対策をしています。また、高価なセキュリティ製品は用いず、汎用的なソフトウェアやオープンソースのソリューションを組み合わせる技術を駆使してこれらの対策を実現しています。

➤ マイナンバーに関連する全情報の一元的な監視・監査

マイナンバー情報に関する全ての取扱内容を記録し、それらをユーザーフレンドリーな画面で一元的に監視・監査できるようにしています。

楽天証券は、顧客がより一層安心してサービスを利用できるように、今後も厳重な管理体制下での堅牢なデータ保護や適切なセキュリティ対策を講じていきます。フューチャーアーキテクトは楽天証券のIT戦略パートナーとして、対策の提案からシステム実装までのサポートを継続していきます。

● **フューチャーアーキテクト株式会社 概要**

代表者：代表取締役会長 金丸 恭文、代表取締役社長 東 裕二

設立：2016年4月1日

資本金：3億円

URL：<http://www.future.co.jp>

事業内容：ITを武器とした課題解決型のコンサルティングサービスの提供

● **本件に関するお客様からのお問合せ先**

フューチャーアーキテクト株式会社 金融ビジネス本部

TEL：03-5740-5792 E-mail：gr-financial@future.co.jp

● **本件に関する報道機関からのお問合せ先**

フューチャーアーキテクト株式会社 広報担当 高橋

TEL：03-5740-5723 E-mail：pr1@future.co.jp